国立大学法人東京工業大学　指定国立大学法人構想工程表（1/4）

2017年12月26日
2022年 8月31日

Tokyo Tech

：第4期の展開として特に追加・強化したもの

第3期中期目標・中期計画期間（実績）　第4期中期目標・中期計画期間　第5期中期目標・中期計画期間

2017　2018　2019　2020　2021　2022　2023　2024　2025　2026　2027　2028　2029　2030

Student-centered learningの実現と多様な学生・教員の獲得

- 「B2D特別選抜（B2Dスキーム）」による教育実施（1st Phase 9年間）→ 発展版「B2Dスキーム」の実施
- 「リーダーシップ教育院」による教育実施，授業科目等を各種プログラムに提供
- 「物質・情報卓越教育院」の設置
- 「超スマート社会卓越教育院」の設置
- 「エネルギー・情報卓越教育院」の設置
- 卓越教育院による教育実施 → 改善と定着
- 「企業との共同研究のもとでの博士学位取得のための実施基準」の制定
- 新しい仕組みによる社会人博士学生の受け入れ促進
- 大学院授業の90%以上を英語化
- 学士課程高学年に予備的な英語教育の導入
- 修士課程修了までに「国際経験」を経た学生の割合を90%以上へ → 学生海外派遣の強化
- ダブルディグリー・ジョイントディグリーの拡充準備 → 海外大学との博士共同指導プログラム，ダブルディグリー・ジョイントディグリーの順次拡充
- アントレプレナーシップ教育の充実 → 理工系アントレプレナーシップ全学教育の革新
- 異なる専門分野を系統的に学修するプログラムを学士課程にも開設，教育実施
- Taki Plaza 竣工，すずかけ台図書館改修等，学修支援・学生交流環境の充実 → DXや学生の声を活かした学修環境の向上
- 学生に対する経済的支援の充実（大隅良典記念奨学金，つばめ博士学生奨学金，リサーチフェロー制度，高度人材育成博士フェローシップ，次世代研究者挑戦的研究プログラム等）と定着
- 博士学生を教育者・研究者として遇する取組の更なる展開
- 学生に対する経済的支援，女子学生支援の拡充
- 「融合理工学系国際人材育成プログラム」，理工系教養科目や専門科目の英語開講に係る外国人教員の配置 → 留学生を含む学生同士の切磋琢磨をファシリテートできる外国人教員・女性教員の増加
- 海外拠点も活用して世界から優秀な学生を獲得
- キャンパス整備と連動した高大連携教育の高度化
- 附属高校新校舎建設・移転

外国人留学生比率22.2%
外国人教員比率24.3%

外国人留学生比率25%
外国人等教員比率30%

Employability Rankingで世界トップ10

国立大学法人東京工業大学　指定国立大学法人構想工程表
（2/4）

Tokyo Tech

	第3期中期目標・中期計画期間（実績）				第4期中期目標・中期計画期間					第5期中期目標・中期計画期間		
	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
研究成果の世界的認知度の向上														
	研究の重点分野の設定，「ゼロカーボンエネルギー研究所」の設置					重点分野の拠点化を通じた研究推進								
	「Tokyo Tech World Research Hub Initiative」等における第一線研究者の招聘・雇用，国際共同研究の推進					卓越した研究者を世界から戦略的に招聘・雇用の拡大，国際研究グループの形成と共同研究の推進						研究者用住居・宿泊施設の拡充		
				「オープンファシリティセンター」を中核とした研究基盤戦略に基づく高度な共用設備の導入・提供と技術支援の推進										
									Researcher support officeによるオンデマンドの研究支援の強化					
										留学生や来日研究者の帰国後の共同研究助成制度を創設				
	「Tokyo Tech ANNEX」3拠点（Bangkok，Aachen，Berkeley）の設置					Tokyo Tech ANNEXの拡充と海外大学・企業等との連携教育研究実施						田町キャンパスへの海外大学オフィスの誘致		
		広報戦略の策定，「東工大の研究力」や「未来社会DESIGN機構」の活動等の発信				広報戦略に基づく教育・研究の質や社会課題解決に向けた取り組みに関する情報の世界に向けた発信								
				Tokyo Tech ANNEX 3拠点 国際共著論文比率37.6% トップ10%論文比率11.3%						Tokyo Tech ANNEX 6拠点 国際共著論文比率40%			国際共著論文比率50% トップ10%論文比率20% トップ1%論文比率3%	
新規・融合分野の研究領域の開拓														
	研究の戦略分野の設定，2分野（SSI，HLS）のリサーチマップ策定					領域推進体による戦略分野の研究推進						未来社会に向けた戦略分野の深化		
									戦略的に選定された領域に特化した基盤研究センターの設置					
	「研究ユニット」等に対する資源配分を通じた新領域・融合領域の研究推進													
										国際的な研究者獲得・基礎研究の推進に寄与するERC*のファンディング理念を善用した研究支援 *ERC：European Research Council				
		「基礎研究機構」の設置，人材育成プログラムや新研究挑戦奨励金制度の開始				基礎研究機構による研究者が研究に集中できる環境の提供，海外での研鑽等を通じた若手研究者の育成，柔軟な人事								
					外部資金等で自立した研究ユニット6拠点						外部資金等で自立した研究ユニット10拠点		スタートアップ支援 2000万円～ 外部資金等で自立した研究ユニット15拠点	

国立大学法人東京工業大学　指定国立大学法人構想工程表（3/4）

Tokyo Tech

第3期中期目標・中期計画期間（実績）　第4期中期目標・中期計画期間　第5期中期目標・中期計画期間

2017　2018　2019　2020　2021　2022　2023　2024　2025　2026　2027　2028　2029　2030

新たな領域の知の社会実装等の社会連携活動の強化

- グリーン・トランスフォーメーション・イニシアティブに関連研究者を集中，カーボンニュートラル社会を目指すGX研究の推進
- 「脱コロナ禍研究プロジェクト」による研究推進 → 「多元レジリエンス研究センター」の設置，喫緊の社会課題に柔軟に対応する研究の強化
- 「未来社会DESIGN機構」の設置，未来社会像2020・未来シナリオ・未来年表の発表，若手向け研究奨励金制度等や企業等とのパートナーズ制度の創設 → 社会と共に “ありたい未来” をデザインする「未来社会DESIGN機構」の活動の推進
- 「未来社会DESIGN研究センター」の設置，総合知/RRIによる研究の進化，デザイン教育等を推進
- アントレプレナーエコシステムを強化するTech-orientedビジネススクールの設置
- 東工大・芙蓉GAPファンド，イノベーションデザイン・プラットフォームGAPファンド，東工大基金「学生スタートアップ支援」「スタートアップ支援基金」を開始 → 「イノベーションデザイン機構」の設置，スタートアップエコシステム・東京コンソーシアムと連動した大学連携・VC連携により，世界を変える大学発スタートアップを育てる取組の推進 → 田町キャンパス再開発を通じた大規模インキュベーション施設への発展・支援の強化
- 「オープンイノベーション機構」の設置，知のマーケッティングに基づく本格的産学連携研究の推進 → 研究内容の競争性や守秘義務の程度を考慮した大型産学連携研究の推進
- 「株式会社Tokyo Tech Innovation」の設立，講習・研修及びコンサルティング事業を開始 → 「Tokyo Tech Innovation」の各種事業を通じた教育研究成果の社会還元の充実
- 「社会人アカデミー」の強化による高度リカレント教育の推進 → 社会人アカデミーの抜本的改善等による成長分野にも対応した高度リカレント教育の強化

産学連携収入2倍増（33.9億円）社会人アカデミー開講数27件

産学連携収入3倍増（50.7億円）社会人アカデミー等開講数50件

産学連携収入5倍増（84.5億円）大学発ベンチャー企業100社，10社をIPO等で社会へ定着

国立大学法人東京工業大学　指定国立大学法人構想工程表
（4/4）

Tokyo Tech

第3期中期目標・中期計画期間（実績）　第4期中期目標・中期計画期間　第5期中期目標・中期計画期間

2017　2018　2019　2020　2021　2022　2023　2024　2025　2026　2027　2028　2029　2030

教育研究基盤発展の自立化

- 学内クロスアポイントメント制度，競争的研究費からの研究代表者等の人件費支出・研究以外の業務の代行に対する支出（バイアウト）の導入，全教員への年俸制の適用
  - TTI等におけるプロジェクトへのクロスアポイントメント制の展開
  - 学内クロスアポイントメント制度の実施
  - 外部資金直接経費からの人件費等の支出の拡大
- 「戦略的産学連携経費」の導入，協働研究拠点等に適用し40%以上の間接経費相当額の確保
  - 産学連携収入の拡充によるオーバーヘッド収入の教育研究基盤への投資強化
- ファンドレイザーの配置，多様な寄附メニューの提供，同窓会の協力も得て基金募集活動を展開
  - 寄附受入額の一部を活用した寄附募集体制の継続的な強化
  - 国内外同窓会との連携強化・学長（President）を中心とした寄附募集の推進
- 広報戦略の策定，「アドバンスメントオフィス」の設置，「統合報告書」の発行
- プロボストの配置，「戦略的経営オフィス」の設置，コスト分析の推進
- 「マネジメント人材育成プログラム」の開始，「高度専門職員」の創設，技術職員のキャリアパスの見直し
- 授業料を改定，超長期投資戦略の立案，発行体格付けの新規取得，大学債発行の検討
  - 学長のリーダーシップとガバナンス体制の高度化
    - 広報・基金・地域連携・同窓会連携担当理事中心のプレゼンス向上戦略実施
    - 役員の女性比率を30%以上，DiversityとInclusionの推進とWell-beingの向上
    - 業務の見える化や知の共有を基本とする業務改革の推進
    - 高い専門能力を有する職員の増員と教職員の役割再定義，キャリアアップ支援
    - CFO中心の財務施設本部の設置と持続的成長を実現するための戦略の実施
  - 大学債の発行準備
  - 田町キャンパス土地活用事業を通した財務基盤強化 土地貸付収入45億円/年（～2100年度）
- 「キャンパス革新オフィス」の設置，「キャンパス・イノベーションエコシステム構想2031」の発表
  - キャンパス・イノベーションエコシステムの構築
  - キャンパス間移転
- 田町キャンパス再開発の導入可能性調査，事業実施方針等の公表，事業予定者を公募・決定，事業協定書を締結
  - 設計・行政協議
  - 民間資金を活用した大学施設整備 事業者との共同運営による 大規模インキュベーション施設の整備
  - 複合施設の供用開始
- 大岡山キャンパス先行移転整備
  - 附属高校新校舎建設・移転
  - 先行整備・行政協議
  - すずかけ台キャンパス再開発
  - カーボンニュートラルキャンパス実現に向けた取り組み

ファンドレイザー6名
東工大基金残高目標額
41.9億円

東工大基金残高目標額
100億円

ファンドレイザー15名
東工大基金残高目標額
150億円
戦略的資金23.4億円/年